

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】令和4年9月28日(2022.9.28)

【国際公開番号】WO2020/061498

【公表番号】特表2022-501043(P2022-501043A)

【公表日】令和4年1月6日(2022.1.6)

【出願番号】特願2021-515623(P2021-515623)

【国際特許分類】

- C 1 2 N 15/62(2006.01) 10
- C 0 7 K 19/00(2006.01)
- C 1 2 N 15/63(2006.01)
- C 1 2 N 15/86(2006.01)
- C 1 2 N 1/15(2006.01)
- C 1 2 N 1/19(2006.01)
- C 1 2 N 1/21(2006.01)
- C 1 2 N 5/10(2006.01)
- A 6 1 K 48/00(2006.01)
- A 6 1 P 35/00(2006.01)
- A 6 1 P 35/02(2006.01) 20
- A 6 1 K 35/17(2015.01)
- C 1 2 N 15/12(2006.01)
- C 1 2 N 15/13(2006.01)
- C 0 7 K 16/28(2006.01)
- C 0 7 K 14/725(2006.01)
- C 0 7 K 14/705(2006.01)
- C 1 2 N 15/861(2006.01)
- C 1 2 N 15/867(2006.01)
- C 1 2 N 15/869(2006.01)
- C 1 2 N 5/0783(2010.01) 30

【F I】

- C 1 2 N 15/62 Z Z N A
- C 0 7 K 19/00
- C 1 2 N 15/63 Z
- C 1 2 N 15/86 Z
- C 1 2 N 1/15
- C 1 2 N 1/19
- C 1 2 N 1/21
- C 1 2 N 5/10
- A 6 1 K 48/00 40
- A 6 1 P 35/00
- A 6 1 P 35/02
- A 6 1 K 35/17 Z
- C 1 2 N 15/12
- C 1 2 N 15/13
- C 0 7 K 16/28
- C 0 7 K 14/725
- C 0 7 K 14/705
- C 1 2 N 15/861 Z
- C 1 2 N 15/867 Z 50

C 1 2 N 15/869 Z

C 1 2 N 5/0783

【手続補正書】

【提出日】令和4年9月16日(2022.9.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

10

【特許請求の範囲】

【請求項1】

B細胞がんまたはリンパ腫を有する対象を処置するための医薬組成物を製造するための自家T細胞集団の使用であって、ここにおいて前記自家T細胞が、キメラ抗原受容体(CAR)をコードし、プロモータに作動可能に連結された核酸配列を含み、ここにおいてCARは、配列番号78、88、92、94、100、102、106、110、または112のアミノ酸配列を含むCD123抗原結合性ドメインを含む少なくとも1つの細胞外抗原結合性ドメイン、少なくとも1つのリンカーまたは少なくとも1つのスペーサードメイン、少なくとも1つの膜貫通ドメイン、および少なくとも1つの細胞内シグナル伝達ドメインを含み、それにより対象のB細胞がんまたはリンパ腫を処置する、使用。

20

【請求項2】

少なくとも1つの前記膜貫通ドメインが、T細胞受容体のアルファ、ベータもしくはゼータ鎖、CD8、CD28、CD3イプシロン、CD45、CD4、CD5、CD9、CD16、CD22、CD33、CD37、CD64、CD80、CD86、CD134、CD137、およびCD154の膜貫通ドメインを含む、請求項1に記載の使用。

【請求項3】

少なくとも1つの前記細胞外抗原結合性ドメインが、CD123抗原結合性ドメイン、少なくとも1つの細胞内シグナル伝達ドメインを含み、CD123抗原結合性ドメイン、細胞内シグナル伝達ドメイン、またはその両方が少なくとも1つのリンカーまたは少なくとも1つのスペーサードメインによって膜貫通ドメインに接続されている、請求項1に記載の使用。

30

【請求項4】

少なくとも1つのリンカーまたは少なくとも1つのスペーサードメインが、CD8、TNFRSF19、またはCD28の細胞外ドメインに由来し、少なくとも1つの膜貫通ドメイン連結されている、請求項1に記載の使用。

【請求項5】

少なくとも1つの前記細胞外抗原結合性ドメインが、CD123抗原結合性ドメインを含み、CD123抗原結合性ドメインに、リーダーペプチドをコードするリーダーヌクレオチド配列が先行する、請求項1に記載の使用。

【請求項6】

少なくとも1つの前記細胞内シグナル伝達ドメインが、CD3ゼータ細胞内ドメインを含む、請求項1に記載の使用。

40

【請求項7】

少なくとも1つの前記細胞内シグナル伝達ドメインが、共刺激ドメイン、一次シグナル伝達ドメイン、またはそれらの任意の組合せを含む、請求項1に記載の使用。

【請求項8】

少なくとも1つの前記共刺激ドメインが、OX40、CD70、CD27、CD28、CD5、ICAM-1、LFA-1(CD11a/CD18)、ICOS(CD278)、DAP10、DAP12、または4-1BB(CD137)の機能的シグナル伝達ドメインを含む、請求項1に記載の使用。

50

【請求項 9】

前記 B 細胞がんが血液学的 B 細胞がんである、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 10】

前記 B 細胞がんが、慢性骨髄性白血病 (CML)、慢性リンパ性白血病 (CLL)、または急性リンパ芽球性 B 細胞白血病 (B-ALL) またはである、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 11】

前記リンパ腫が、マンツル細胞リンパ腫、非ホジキンリンパ腫またはホジキンリンパ腫である、請求項 1 に記載の使用。

10

20

30

40

50